

横浜子どもスポーツ基金「視覚障害児のためのスマイルスポーツ教室」報告

日 時	令和7年4月13日～令和7年9月21日
場 所	神奈川県ライトセンター、横浜市立盲特別支援学校
参加者 (うち障害児)	150 名 ※スタッフ、保護者含む (48 名)
活動写真・内容など	<p>本事業は、弱視の子ども(見えにくさのある方)を対象としたスポーツ体験を提供する取り組みです。</p> <p>スポーツを通じて、他者とのコミュニケーションの力や、諦めずに課題にチャレンジする力、「見えにくくてもできる」という自己肯定感を育むことを目的に、定期的(月一回)取り組みました。</p> <p>活動実施日は、4/13、5/17、6/8、7/6、8/3、9/21であり、累計150名(内、視覚障害のある子どもが48名)が参加しました。</p> <p>Jリーグクラブ「横浜FC」の育成コーチや、ロービジョンフットサルクラブ「CA SOLUA」、ブラインドサッカーチーム「buen cambio yokohama」の選手方にご協力いただき、各回、サッカーをベースとしたアイスブレイクやチームビルディング、ミニゲームなどに取り組んでいただきました。</p> <p>回を重ねるごとに、参加者同士のコミュニケーションも活発になり、運動のスキルや量、意欲の向上にもつなげることが出来ました。</p> <p>*活動写真の貼り付けができなかったため、別紙にて提出いたします。</p>
全体所感	<p>主に、横浜市在住の年齢や所属、見え方などの異なる弱視当事者が集まり、共に様々なスポーツ(運動あそび)に取り組むことを通じて、他者とのコミュニケーションの力や、諦めずに課題にチャレンジする力、「見えにくくてもできる」という自己肯定感を育むことができました。</p> <p>また、チームビルディングや参加者同士の対話(作戦会議や振り返り)の時間を十分に設けることで、自己理解・他者理解の促進や課題解決能力の向上につなげることができました。</p>

主催 一般社団法人チームアダプテーション、ラビスタ横浜 協力:横浜FC、CA SOLUA